

令和6年6月24日(月)
内子分庁3階大会議室

令和6年度 内子町部活動地域移行推進連絡協議会(第1回)会議録

内子町教育委員会

挨拶 教育長

部活動については、令和5～8年度に移行手続きを行っていく。

部活動の運営が困難になっていること、教職員の働き方改革など、部活動の地域移行は必要になる。ご協力をお願いしたい。

◆協議1 令和5年度における取組概要と地域移行(第2期令和8年度～)に向けて

委員 軟式野球部は、内子と大瀬の2校がある。地域移行したということですが、今はまだ、どこか1校でやっているわけではないということか。

事務局 資料「内子町の中学校では、令和6年度から「拠点校部活動」を導入します」に、拠点校部活動一覧を載せている。小規模の学校の中にも、部活動を可能なかぎり残しながら、拠点校部活動を徐々に進めている。まだ、1競技を複数校の拠点校で実施しているものもある。合併の目安については、備考欄に記載のように考えている。

委員長 少しでも部活動を行うチャンスを与えるということ。拠点校部活動により、今は色々な選択が増えたということ。少人数の学校で、できなかった部活ができるようになったという話もきいている。

委員 第2期では、拠点校1校になるのか。そもそも中学校統合もあると思うが。

委員長 内子町教育改革懇談会で、まだ統合について議論できていない。

今年度、答申が出される予定であるが、方針、計画、地域の理解などあり、まだまだ協議に時間はかかる。

◆協議2 年間計画の確認

特になし(承認)

◆協議3 拠点校部活動について(ア入部状況と確認事項)(イ検討事項)

委員 中学校の生徒数は、今がピークである。

今は、拠点校部活動をしているが、この先、人数が急激に減少する。

もっと先を考える必要があるのではないか。

委員長 年間出生者数が50名程度で、生徒数の減少はたしかではある。

ただ、保護者は今できることをやらせたいと考えるため、遠い将来、大きく減少があるとしても、現在の保護者は大きな変化を受け入れ難い面もある。

◆協議4 収支関連について（ア各学校における部活動費用）（イ部活動指導員の費用）

委員長 拠点校部活動は、学校部活動であるため、費用を町が負担している。移動も町の負担である。地域移行したときに、これらをどうするかが大事になる。協議いただきたい。

委員 拠点校になって、差額分はどうしているのか。

事務局 各学校の仕組みは、引き続き行っている。拠点校を行うことによる新たな必要経費については、町の予算を使用している。

◆協議5 その他について

委員長 その他、協議事項として何かあればお願いします。

委員 指導員について、地域にいればいいが、いない場合はどうするか。そんなに指導できる人材がいるのか。

事務局 人材がいるのか、仕事をしながら放課後に入ってもらえるか、課題はあった。現在の指導員は、指導員になった方から、紹介により広がった経緯がある。まだ把握できていない方もいるという考えで、何らかの形で関わっていただける方を見つけて、広げていきたいと思う。

委員長 指導者をどう確保するのは、大きな課題。予算の問題もある。できることと指導できることも異なる。選出も基準が必要と考えている。

委員 県の人材バンクについて、確認状況を教えてほしい。

事務局 内子町の方としては、それほど登録がない状況である。

委員長 地域の格差はあるのではないかとと思われる。

どちらにしても、報酬を支払う必要がある。内子町の方のほうがいいのではと思う。

事務局 第2期に、子供たちの活動をどうやって保障、維持していくか、考えていきたい。現在、平日の放課後は「16時から18時」で部活動を行っているが、スポーツ少年団のように「17時から」という時間をずらす考え方、または、夜間に行く考え方もあるかと思う。

委員長 時間をずらすと、その間、子供をどうするのか。移動をどうするのか課題が出てくる。指導者に合わせるのか、子供に合わせるのか。部活動によっても違うかもしれない。

委員 4月から、1年生は拠点校部活動を進めているが、分からないことが次々出てきている。状況をしっかりと見据えながら、知恵を借りて問題を解決しながら進めていく必要がある。

委員 ここまで仕組みを考えてもらっていることは、ありがたい。子供たちのため、町の現状にあわせて、と様々な考え方を合わせていく必要がある。

委員長 ひとつずつ解決していかなければならない。

委員 新規の総合スポーツ部、総合文化・科学部はどんなことをしているのか
委員 (総合文化・科学部について) 今は、1か月の間に、1日を神楽、3日を自然観察で行っている。自然観察は、同じ場所で、虫取りなどして変化を記録している。太鼓の練習も行っており、8月には、内子座で発表行う予定。音が苦手な子もいるが、太鼓の間は、別の部屋で過ごすなどしている。映像関係は、テーマをもらって、写真を撮ったりしている。他にも、普段見ることのできない工場の見学など行っている。化学実験分野は、やりたい子が多いが、指導者がまだ見つかっていない。いろいろ考えているところ。

委員 (総合スポーツ部について) スポーツを楽しむということをやっている。スポーツをすること、できなかったことができることを体験する。そのため、トレーニングとこれまではバレーをしてきた。7月以降は、種目を変えてチャレンジする。スポーツを通して成長をめざす。小田開催のマンダリンパイレーツの試合運営のお手伝いをできる範囲で行う予定。スポーツをする人を支える人がいることを知ってもらいたい。町内のイベントにも参加したいと思う。また、勝敗も大事である。町内の自治チームなどで行いたい。

挨拶 副委員長

内子町の拠点校部活動は、全国的に見ても先進的取組である。素晴らしいことでもあるし、生み出す難しさもある。

部活動の地域移行については、その分、クリアすべき課題も多く、みなさんの協力をいただき、進めていきたい。